

2015.3

編集発行人・吉田隆司

毎月1回、1日発行

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京00100-0-38184

〒112-0004東京都文京区後楽1-5-3
TEL. 03-3814-3591
FAX. 03-3814-3590

Website: <http://www.rizhong.org/>
E-mail: info@rizhong.org



2月21日
倉石記念講演会 武田先生

A先生の新語コーナー



yà xìn
“亚信”

アジア信頼醸成措置会議(CICA)のこと。中国の習近平国家主席は昨年5月21日、上海で開かれたCICAの首脳会議で基調演説を行い、「アジアの安全は結局のところ、アジアの人々が守らなければならない」と述べた。アジア地域の安全保障問題を話し合う場として1992年に設立され、首脳会議が4年ごとに開かれる。加盟数は現在26カ国・地域で、中国が2016年まで議長国を務める。「欧州安全保障協力機構(OSCE)のアジア版」との見方も。(A)

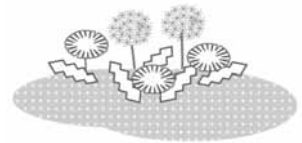
竹中憲一基金が創設されました！



11月に竹中憲一先生所蔵の中国書画の展示会を開催し多くの皆様に鑑賞いただきました。その後、それらの作品を購入したいとの問い合わせが数件あり、相談の結果一括して譲渡することになりました。

この度、竹中先生からその譲渡金800万円をそっくり日中学院にご寄付いただきました。日中学院はこれを有効に活用し、学生、受講生の教育支援、奨励に役立てていくために「竹中憲一基金」を創設いたしました。これを応援していただくかのように本科16期生(1979年入学)山田千尋同学より、日中学院に20

万円のご寄付をいただきました。私たちはこれを竹中基金に積み立てさせていただくことにしました。「老同学」からの応援に心より感謝申し上げます。また、今後も皆様からのご寄付をお願いし基金の強化をしていきたいと考えます。なお、日中学院へのご寄付は「寄付控除」の対象となります。どうぞ学院までお問い合わせください。



本科・日本語科合同弁論大会

2月10日(火)に本科・日本語科の合同弁論大会が日中友好会館地下大ホールで開催されました。本科6名、日本語科11名が参加し日頃の成果を発表しました。





1月31日、大阪府立大学の清原文代先生を講師としてお迎えし、教職員学習会を開催しました。

ご存知の通り、IT技術は日進月歩で進んでおりますが、それに伴い、新たな学び方、教授法も新しく次々に開発されています。日々、技術革新が進む中、この方面に大変お詳しい先生から学ぶ機会が得られますことを、大変嬉しく思いました。

このような機会を通じて、新しい発想、新しい取り組みについて考え、それを大いに活用させていただいて、よりよい授業ができるのではないかと、これからの展開を大変楽しみにしております。

清原先生のご講義の内容は、下記の通りです。

1) 講義の目的

- ①中国語の授業に利用できるWeb上のリソースやスマートフォンアプリを知る。
- ②中国語の授業の準備に役立つWeb上のリソースを知る。
- ③上記の知識を元に自分の授業でどう活用できるかを考える。

2) この講義の目標 (can do)

- ①授業または授業の準備で利用できそうなWebページやスマートフォンのアプリを3つ言える。
- ②授業または授業の準備でどのようにWebページやスマートフォンアプリを活用するか、自分のアイデアを1つ言える。

3) 目次

- ①教育に用いるメディアの変遷（アナログからデジタルへ）
- ②入門～初級の学習者向け教材
- ③スマートフォン活用術
- ④簡単e-Learning教材：音の出るデジタル単語カード
- ⑤授業の準備に役立つもの
- ⑥中級以上の学習者なら生の素材を

4) 私の実践例

例1、反転授業

説明型の講義など基本的な学習を宿題として授業前に行い、個別指導やプロジェクト学習などを知識

の定着や応用力の育成に必要な学習を授業中に行う教育方法。

- ①第二外国語の中国語の2年生の検定対策クラス
- ②東京外大言語モジュール中国語の文法モジュールを自宅で予習
- ③授業では3～4人のグループで練習問題を解いたり、文法のまとめを作って発表する

例2、「iPhone&iPadで中国語」

- ①学生にテーマを与えて台本を紙に書かせる。
- ②教員が添削して、次の授業で返却。
- ③iPadにTTSアプリ（Voice Dream Reader）を入れ、台本をキーボード入力して合成音声で発音を聞く。
- ④iPadに音声入力アプリ（Dragon Dictation）を入れ、台本を音声入力できるか試す。
- ⑤iPadに動画編集アプリ（ロイロノート）を入れ、話す様子を撮影して編集し、動画作品にする。

先生がご自身の経験を踏まえて、「反転授業」など新しい発想について解説してくださいました。大変わかりやすく講義をしてくださり、受講者からの熱心な質問にも丁寧にご答えくださいました。本当にありがとうございました。

2時間のご講義は、瞬間に時間が過ぎ、大きな拍手の中、盛況のうちに終了いたしました。先生のお話が一粒の種となり、多くの教室で花開くことを確信いたしております。学習者の皆様にとっても、この日の出会いと学びが大きな収穫となりますよう祈りたいと思います。



「酸甜苦辣五七五」

新年



| | | |
|-------|---------|-------|
| 儿子回来了 | 我想看他的笑脸 | 我做新年菜 |
| 我们去汤泽 | 孩子们滑雪滑得 | 越来越漂亮 |
| 太太爱福袋 | 想想里边有什么 | 东西和幸福 |
| 新年开始了 | 我想要休息休息 | 工作不等人 |
| 好久没回家 | 饭好菜好酒更好 | 家人都很好 |
| 年终剪头发 | 身体心情都感到 | 新鲜的气氛 |

| | | |
|-------|---------|-------|
| 我们和婆婆 | 在医院庆祝新年 | 祝她早康复 |
| 父亲在院子 | 看到了白梅红蕾 | 但春天还远 |
| 新年九連休 | 我在家打太极拳 | 我丈夫也打 |
| 新年到来了 | 抬头大步往前走 | 心情也改变 |
| 辛苦的一年 | 改变想法向前走 | 笑脸迎朝阳 |



第372回「星期日漢語角」年初会の報告

2015年1月11日(日)、東京都豊島区の西池袋公園で第372回「星期日漢語角」(日曜日の中国語コーナー)の年初会が開催され、温かい日差しの中、35名が参加して大いに盛り上がりました。本年は1月4日をお休みとし、11日に年初会を開催しました。中国の新年は「春節」(旧暦で今年は2月19日)であり、「星期日漢語角」の新年会も2月末～3月初め頃を予定しています。

さて、本日の全体会での話題は、新規参加者の自己紹介の後、上海の「日語角」でした。

本日参加の高倉さんは、「星期日漢語角」初期メンバーの一人で、過去「同済大学日語角」を主宰し、現在も上海在住で日本語教師をされています。また木曜日の夜、上海外語大学の「上外日語角」にも参加し、若者と交流してアドバイスもされています。今回は、以前から行われている「魯迅公園の日語角」についても、毎週日曜日の午前に行われ、最近では若者が少なく年配者が目立つ、と報告をされました。

本会(毎回参加者20～40人程度)でも、毎回新しい参加者が来訪しますが、若い人達の定着率が減少した様子。中国語レベルを問いませんので、是非ともお友達を誘ってお喋りに来て下さい!

★「星期日漢語角」は、NPO法人 日中交流支援機構が主催する、誰でも、いつからでも、無料で参加できる日中交流の場です。毎週日曜日の午後2時～5時、東京都豊島区の西池袋公園(JR池袋駅メトロポリタン口より徒歩5分)で行われる、7年半の歴史を持つ出会いの場です。雨天(雪でも)決行! 公園での立ち話ですので、冬は防寒着とカイロや飲物をお忘れなく。(※池袋西口公園ではありません!)

文・写真 NPO法人 日中交流支援機構 漢語角担当 理事 中村洋一



(写真=午後3時の全体会(連絡会)中の「星期日漢語角」参加者。=1/11中村写す)

内山鶉さんを悼む

本日、この1月23日に、劇団民芸で演出家をつとめてこられた、内山鶉さんの訃報に接しました。享年八十歳。

1961年6月6日、日中学院の前身、倉石中国語講習会は、創立十周年祭を千代田公会堂で開催しました。

この式典では、中国の山門峡ダムの工事現場で実際におこった労働者の金属中毒事件を扱った集団創作劇「為了61個階級兄弟」が演じられました。

当時、講習会の学生、教職員の総数は二百余名でしたが、皆が力を出しあい、千名を越す人々に深い感銘を受けていただくことができました。私もその一員「わんたん屋さん」のオヤジとして出させていただいたのですが、内山鶉さんの演出を受け、舞台がみるみる緊張し、たかまっていったことをおもいします。

その後、内山鶉さんがおかきになった文が「中国へかける橋Ⅲ」に掲載されておりますのでご紹介し、心より御冥福をお祈り申し上げます。

尚、講習会自治会機関紙「小黑板」十九号にも、「芝居バカと語学バカ」が掲載されております。

又、日中学院が存亡の危機にあった1968年8月より1980年4月までの11年半、日中学院は神田神保町の「内山書店」の2階と3階を教室として使わせていただき存続ができたのです。鶉さんは、当時社長の内山嘉吉先生のご次男です。

2015.2.3 倉石 37 期生 江尻健二

語劇『為了61個階級兄弟』前後—1961.6— 内山鶉（演出家）

ぼくは日中学院に在籍したことはありません。でも倉石中国語講習会はとても身近な存在でした。

大学を出るのに外国語の一つぐらいマスターしとかなくちゃ恥ずかしいなと思った4年生のとき、いちばん手近にあったのが中国語だったんです。早稲田の学生時代から芝居に明け暮れていたぼくに先生を紹介してくれたのが、内山書店のお客さんだった渡辺マサさん、ぼくが卒論のテーマに選んだ劇作家久保栄の養女。「一緒に勉強しましょうよ」と誘ってくれて、いまは日中医学協会にいる阿部淑子（高校の先輩）と3人で行ったのが恵比寿の李秀清先生のお宅でした。むろん先生はまだ日中学院とは関係のなかつたころです。間もなくぼくだけ個人授業になって、週に2～3回せつせと恵比寿に通ったものです。3年ほどつづいたと思います。

しょっちゅう李先生手づくりの餃子や春餅をごちそうになりながら、なんと曹禺の『雷雨』をテキストによちよち歩き、練炭火鉢のガスに当たったのか帰り道でぶっ倒れ、交番のお世話になったのもいまは懐かしい思い出です。

大学の卒業式直前に久保栄さんが順天堂で自殺された、という渡辺さんの電話にびっくり仰天、李先生に「きょうは休む」と取り次いだのを思い出します。

早稲田の大学院を受験しようと思ったところ、講座にはあった中国語が大学院の受験科目にはありません。しかも2ヵ国語必修です。やーめた。でもあんまり癪にさ



劇団民芸監督 内山鶉先生も実は「倉石」の裏方さん。
奥さんのアッコさんも「倉石」育ち。

わったので、当時教育学部の実藤患秀教授にねじこんだ、「おかしいじゃないですか」と。実藤先生のご尽力でしょう、つぎの年から受験科目に加えられたそうです。けどぼくは店番をしながら、お客さんの長谷川良一先生や牛島徳次先生をつかまえては分からないことをしつこく聞いたりして、やがて都立大学大学院の竹内好先生の中国現代文学ゼミナールに参加、現代劇を一手にひきうけた、これは盗講生です。一年後、安保闘争で竹内先生が辞められたのでぼくもやめました。

安保闘争のさなかにはテレビにかじりつき、いても立ってもいられず電車で国会議事堂へかけつけるのですが、デモに加わる団体もなく、うろうろしているうちに眼にとまった「声なき声の会」の旗の下の車座に割りこんで、毎日地べたに坐った久野収さんや鶴見俊輔さんの話にのめりこんでいました。

つぎの年、三一書房から出す『久保栄全集』全12巻の編集と解題執筆をひきうけたところだったと思います。倉石中国語講習会の十周年に中国語劇をやるのだが、どうもうまいかないから演出を手伝ってくれと、たしか本番の数日まえに急にいわれて善隣会馆へ出かけました。みんな一所けんめいやってるし、気持ちのいい稽古ですが、なんの話がよく分からない、といって場面などを説明する装置や衣裳にも金をかけられないし時間もない。よーし、ってわけで、若者のすがすがしいエネルギーをリズムカルに演出するしかない、そうすればなんとかなるだろうと、もちろんほくも若者でしたが、飛行機から救援物質を投下される群衆シーンのクライマックスを中心に練りあげてみると、ほんと、芝居も分かりやすく、中国語もそれらしく聞こえてくるんです。面白いもんですね。

いよいよ公演当日、朝から仕込みをして舞台稽古。お昼ごろから当時民藝の俳優鈴木瑞穂さんがメイクアップ指導ということで来てくれた。ほくはこれが初対面、プロ劇団のことをいろいろ聞いているうちあつという間に本番。みんな緊張に顔を赤らめながらけんめいに演技。舞台はどうやらさわやかに仕上がった。ほっとしたところを鈴木瑞穂さんに誘われて「飯食いに行こう」。喫茶店でビールの小瓶を一本、寿司屋のカウンターに

坐ってアガリを口にしたとたん、高い椅子から転落しちゃったんです。ビールの小瓶に酔っぱらったほくは、初対面の鈴木さんに介抱させてしまいました。ただでさえ下戸のほくは朝からなんにも食べてなかったんですよ。

倉石中国語講習会とのおつきあいはその一ぺんきりですが、日中学院になってからうちの店の2階に引っ越してくる。ほくは2年後には民藝にはいり、ずっとあとですが久保栄の『林檎園日記』につづいて、李先生のご協力をえて曹禺の『日の出』を演出し、この夏にはまた、天津で開かれる曹禺研究の国際学会に参加して中国語でレポートすることになっている。こうしたほくの歴史の一こまも、どこか因縁めいていませんか。

(『中国へかける橋Ⅲ』より)



図書室 だより

今月は、昨年配架した新着書より2冊ご紹介いたします。図書室には本欄で紹介しきれないたくさんのお本、雑誌、辞典等があります。どうぞご利用ください。

●《你所不知道的日本文学故事》

新井一二三 著 上海译文出版社

日本ではよく知られているが、中華圏ではおそらく知られていない日本語の単語をキーワードに、それにまつわるエピソードを綴るエッセイ集。

著者の新井一二三(ひふみ)さんは、生粋の日本人で、大学生になってから中国語を学び、現在中国語作家として活躍中。著書は主に台湾で出版されています。

●『誤用から学ぶ中国語 続編1』

郭春貴 著 白帝社

日本人学生の文法の誤用例を取り上げ、どこが間違っているのかを分析し、正しい文法や表現を説明する『誤用から学ぶ中国語』の待望の続編。本書では、日本人学生がなかなかうまく使えない副詞と補語について解説しています。

<今月の新着図書>

- 『中国人物伝4—変革と激動の時代 明・清・近現代』
井波律子 著 岩波書店
- 『街なかの中国語 Part 3』
孟国 主編 井田綾・平野紀子 訳 東方書店
- 『契丹国 遊牧の民キタイの王朝』(新装版)
島田正郎 著 東方書店
- 『HSK 词语用法详解』北京语言大学出版社

<寄 贈>

下記の方々より寄贈がありました。有難うございます。

- 榎本英雄様(著者)より
『7つのパターンでよくわかる中国語初級文法』
NHK出版
- 納村公子様より
小説『鳥看見我了』百花洲文艺出版社
『三体』重庆出版社



★本学の学生であればどなたでも図書室を利用できます。図書貸出証は図書室で発行いたします。ご利用希望の方は図書室にお早めにお申し込みください。
☆図書室開室時間 月・金 12:00 - 18:45
 (本学院2階奥) 土 12:00 - 18:00

★図書室の3月下旬以降の休室日等は下記の通りです。
3月21日(土・祝日) 休み
3月22日(月) 通常開室
3月24日(火) - 4月7日(火) 春休み

3月の日中学院

| 日 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 |
|---|------------------------|----------------------------|---|--------------------|----------------------------|--|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 ●日本語科 成績発表 | 6 ●本科4次受付締切 ●本科授業最終日 | 7 ●別科公開講座 13:00～ |
| 8 ●本科4次試験 | 9 | 10 | 11 ●本科5次 受付開始 | 12 ●本科 成績発表 | 13 | 14 ●本科・日本語科 合同卒業式 |
| 15 | 16 | 17 | 18 ●本科5次 受付締切 | 19 | 20 ●本科5次試験 | 21 |
| 22 ●中国語検定試験 | 23 ●別科256期 授業最終日 | 24 ●別科 春期集中 講座(～28日) | 25 | 26 | 27 ●別科 公開講座 18:45～ | 28 ●別科 公開講座 13:00～ |
| 29 | 30 | 31 | | | | |
| ●4月の日中学院 ・3日…別科 公開講座 18:45～ ・4日…本科・日本語科 合同入学式 別科 公開講座 14:00～ | | | ・8日…別科257期開始 ・10日…本科・日本語科授業開始 ・15日…中国語検定受付開始 ・16日…本科 学生支援機構奨学金受付開始 | | | ・20日…本科2年個人面接 ・24日…本科・日本語科都内見学 ・29日…本科・日本語科・別科 GW休暇開始(～5/6) |

【耳目】

○『日中友好岸関子賞』論文募集要項

(公財)日中友好会館は『日中友好岸関子賞』を設立し、毎年一回日本の大学あるいは研究機関の修士課程で学んだ中国人留学生の修士論文の中から優秀論文2点を選考し、表彰、奨励金(20万円)を授与しています。

主催－「第3回日中友好岸関子賞」審査委員会

論文応募の詳細は以下のとおりです。

- ・募集対象－中華人民共和国東北三省(遼寧・吉林・黒龍)からの留学生に限る。
- ・各年度末において日本の大学の修士論文学位審査に合格した人文社会科学系の論文を対象とする。
- ・締め切り－2015年4月30日(当日消印有効)

※提出書類など詳しい内容については、下記までお問い合わせ下さい。

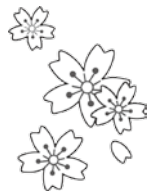
・問い合わせ先 担当:(公財)日中友好会館 鈴木、沼崎

Tel 03-3814-1261 Fax 03-3814-8383

○おめでとうございます!

本年度通訳案内士試験に日中学院より8名の方が合格されました!

2月5日に平成26年度通訳案内士の発表がありました。全国の中国語案内士合格者は81名、合格率8.9%の難関でしたが、日中学院では8名の方が合格されました。今後のご活躍をお祈り致します。



○映画公開情報

☆映画「妻への家路」

3月6日公開

張芸謀監督と、鞏俐主演の最新作です。文化大革命によって引き裂かれた夫婦の絆を描くヒューマンドラマです。

<http://cominghome.gaga.ne.jp/>

☆映画「唐山大地震」

3月14日公開

1976年の唐山大地震を題材に、少女と母親の32年間を描く感動ドラマです。当初は2011年3月公開が予定されていましたが、直前に起きた東日本大震災により公開が延期され、今年の公開が決定しました。

<http://tozan-movie.com/>

【編集後記】

学院報の担当になり、1年が過ぎました。まだまだ、どんな記事が良いのか、見やすいレイアウトはどのようなものだろうかと悩む日々です。今後も皆様楽しんでいただける学院報を目指して頑張って行きます。(D)